

外郭団体に関する情報公開資料

1 作成年月日および作成担当部署

作成年月日 平成 30 年 10 月 1 日

作成担当部署

大阪府八尾市 教育委員会 教育総務部 文化財課

2 外郭団体名等

外郭団体名 公益財団法人八尾市文化財調査研究会

外郭団体所在地 〒581-0821 大阪府八尾市幸町四丁目 58 番地の 2 電話番号 (072) 994-4700

設立年月日 昭和・平成 57 年 7 月 1 日 ホームページアドレス [http://www17.plala.or.jp/zyao\\_maibun/](http://www17.plala.or.jp/zyao_maibun/)

3 資本金

11,500 千円 ( 当該地方公共団体の出資割合 65.2% )

4 事業内容

- ①埋蔵文化財の調査、整理、研究、保存および活用に関する事業
- ②有形、無形、民俗文化財等の調査、研究、保存および活用に関する事業
- ③文化財に関する資料及び情報の収集、管理及び活用に関する事業
- ④文化財や文化財保護に関する普及、啓発に関する事業
- ⑤地方公共団体等が行う文化財調査等への支援及び協力に関する事業
- ⑥地方公共団体等が設置する博物館、資料館、史跡公園その他これらに類する施設の管理及び運営に関する事業
- ⑦その他法人の目的を達成するために必要な事業

5 財務状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		前々年度	前年度	本年度
	総資産	229,036	226,819	244,824
	負債	214,186	209,043	219,649
	(うち有利子負債)	( )	( )	( )
	純資産	14,850	17,776	25,175
	利益剰余金	3,350	6,276	13,675

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		前々年度	前年度	本年度
	総収入(=売上高十営業外収益十特別利益)	180,263	197,108	189,985
	(うち地方公共団体からの補助金・委託金)	(130,798)	(135,402)	(124,708)
	経常損益	489	2,926	7,399
	当期損益	489	2,926	7,399
	減価償却前当期損益	750	3,175	7,648

6 役職員の状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

役員数(うち地方公共団体からの派遣者・退職者)	役員平均年齢	役員の平均年収(千円)	職員数(うち地方公共団体からの派遣者・退職者)	職員平均年齢	職員の平均年収(千円)
9 ( 5 )	68.3	0	8 ( 1 )	54.9	6,104

※役員の平均年収の計算の対象となる役員は、全役員 9 人のうち 0 人です。

退職手当

役員数(うち地方公共団体からの派遣者・退職者)	役員平均年齢	役員の平均支給額(千円)
( )		

7 外郭団体への関与の状況

(1) 公的支援 (フロー) (平成 30 年 3 月 31 日現在)

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	前々年度	前年度	本年度	
① 補助金(助成金)				
② 利子補給金				
③ 税の減免額				
④ その他 ( )				
小計				-
⑤ 損失補償契約に伴う金利軽減額				
⑥ 出資金、低利貸付等に伴う機会費用				
小計				-
合計				-

(参考) 委託料	56,612	57,865	49,831	市内遺跡発掘調査業務等
(参考) 指定管理料	74,186	77,537	74,877	歴史民俗資料館管理運営業務・埋蔵文化財調査センター管理運営業務

(2) 公的支援 (ストック) (平成 30 年 3 月 31 日現在)

項目	内訳			備考(目的、内容、算出根拠等)
	前々年度	前年度	本年度	
① 損失補償契約に係る債務残高				
(将来負担額)				
(将来負担参入率)				
② 貸付金残高				
③ 出資金				
合計				-

8 経営分析指標による経営状況の評価 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

経営分析指標	指標の目安	前々年度	前年度	本年度
① 流動比率 (流動資産/流動負債)	比率が高い方が、健全である。	102.0	105.3	112.3
② 自己資本比率 (自己資本/総資産)	比率が高い方が、望ましい。	6.5	7.8	10.3
③ 売上高経常利益率 (経常利益/売上高)	比率が高い方が、望ましい。	0.3	1.5	3.9
④ 総収入に占める市受託事業及び市補助金の割合	比率が低い方が、自主的運営が図られている。	72.6	68.7	65.9

## 9 地方公共団体による意見

公益財団法人八尾市文化財調査研究会は、昭和 57 年の設立以来、市内に散在する貴重な文化財の収集、調査・保存及び活用に努めており、これらの成果については展示や講座・講演会等を開催し、積極的に普及啓発に努めている。平成 28 年度に本財団が発掘調査で確認した『続日本紀』に記載のある称徳天皇と道鏡ゆかりの由義寺跡は、平成 30 年 2 月に国指定史跡になり、新たな八尾の魅力として全国に発信できるものとなった。また、市史編纂事業においても、これまで蓄積してきた研究成果を活かすなど、その活動の重要性は増している。

今般、平成 30 年度の予算及び事業計画並びに平成 29 年度の決算及び事業報告を受けたが、いずれも適正なものと認められる。また、平成 29 年度の決算状況について、前期に続き当期経常増減額が増加しており、事業への積極的な取り組みによる効果が見られる。

今後も、事業の充実を図り、文化財の保護及び活用に寄与するとともに、市民の文化財に対するニーズに迅速かつ的確に対応し、さらなる市民サービスの向上に努め、より一層の効率的な事業経営をすべきものとする。

## 10 その他の特記事項

※公益法人及び社会福祉法人は、「5 財務状況」の各項目のうち、必要な項目について、それぞれ公益法人会計基準及び社会福祉法人会計基準における決算書類の項目名等に読み替えています（下記参照）。

### 公益法人

<貸借対照表>・純資産⇒正味財産合計、利益剰余金⇒一般正味財産

<損益計算書>・損益計算書⇒正味財産増減計算書

- ・総収入(=売上高+営業外収益+特別利益) ⇒ 総収入(=経常収益+経常外収益+当期指定正味財産増加額)
- ・経常損益⇒当期経常増減額
- ・当期損益⇒当期一般正味財産増減額

### 社会福祉法人

<貸借対照表>・利益剰余金⇒次期繰越活動増減差額

<損益計算書>・損益計算書 ⇒ 事業活動計算書

- ・総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)  
⇒ 総収益(=サービス活動収益+サービス活動外収益+特別収益 - (事業区分間繰入金収益+拠点区分間繰入金収益))
- ・経常損益 ⇒ 経常増減差額
- ・当期損益 ⇒ 当期活動増減差額